

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】令和1年8月29日(2019.8.29)

【公開番号】特開2019-84176(P2019-84176A)

【公開日】令和1年6月6日(2019.6.6)

【年通号数】公開・登録公報2019-021

【出願番号】特願2017-216133(P2017-216133)

【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 2 0

A 6 3 F 7/02 3 3 0

A 6 3 F 7/02 3 0 4 D

【手続補正書】

【提出日】令和1年7月16日(2019.7.16)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

遊技を行うことが可能な遊技機であって、

複数の可動体と、

前記可動体の動作を個々に制御可能な可動体制御手段と、

所定条件が成立したことにもとづいて、特別報知を実行可能な特別報知手段と、

を備え、

前記特別報知手段は、前記特別報知として特別画面の表示による報知を実行可能であつて、該特別画面が表示されたことにもとづいて、前記可動体の各々を順次、所定動作させることにより、前記可動体の各々について正常に動作しているか否かを確認可能に報知する

ことを特徴とする遊技機。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 6

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 6】

前記課題を解決するために、本発明の手段1に記載の遊技機は、

遊技を行うことが可能な遊技機(例えば、パチンコ遊技機1)であって、

複数の可動体(例えば、第1可動体116SG032L、第2可動体116SG032R、第3可動体116SG032U、第4可動体116SG032D)と、

前記可動体の動作を個々に制御可能な可動体制御手段(例えば、演出制御用CPU120が可動体動作演出として第1可動体116SG032L、第2可動体116SG032R、第3可動体116SG032U、第4可動体116SG032Dを個別に動作可能な部分)と、

所定条件が成立したこと(例えば、設定切替スイッチ116SG400のチャンネルが「C」にセットされたこと)にもとづいて、特別報知を実行可能な特別報知手段(例えば

、演出制御用 C P U 1 2 0 が図 2 2 - 9 に示す設定切替スイッチ関連処理の一部として可動体動作チェック処理や可動体動作再チェック処理を実行する部分 ) と、  
を備え、

前記特別報知手段は、前記特別報知として 特別画面の表示による報知を実行可能であつて、該特別画面が表示されたことにもとづいて、前記可動体の各々を順次、所定動作させることにより、前記可動体の各々について正常に動作しているか否かを確認可能に報知する ( 例えば、図 2 2 - 1 8 に示すように、画像表示装置 5 において動作チェック結果画像を表示するとともに、各可動体の動作チェックを順番に実行していき、各可動体に応じた原点位置センサと演出位置センサの欄に順次「\_」、「\_」、「x」等を表示していく部分 )

— ことを特徴としている。

この特徴によれば、どの可動体が正常に動作しているか否かを把握することができる。